

1 月度 <b>例会</b> <b>個人</b> 山行報告書		報告者	神戸	参加 メンバー	CL: 亀山、SL: 吉田 町田、津田、小田、神戸
		報告日	1/18		
山域	鈴鹿	山行日	2012年1月15日(日)		
山名	御在所(本谷-中道)				

山行目的	冬季 御在所の本谷を楽しむ	コースタイム(天候: 天気図記号)	
------	---------------	-------------------	--

配布先  
集会:12  
山行: 1  
リーダー  
原紙: 集会担当者

ルート図(地図を見て正確に)

2.5万分の1地図: 御在所山

1/15 小雪のち曇り  
7:00 刈谷発  
8:20 スカライン冬季閉鎖ゲート前スタート  
9:00 中道登山口から本谷へ  
9:45-55 一本(790m) アイゼン装着  
11:35-45 一本(1020m)  
12:15-25 一本(1170m, 山上公園)  
13:25 中道 3 合目 (710m アイゼン脱着)  
13:40 中道登山口  
14:00 駐車場着  
14:30-15:30 希望荘  
16:30 刈谷着 解散



山行報告 御在所岳本谷コースは急登で知られた所。先週に続いて冬山装備を揃えた新人の小田さんと冬山体力を揃えていない神戸が山行に参加した。

雪の積もった谷筋を進み、一本目でアイゼン装着。小田さん初使用だが問題なさそう。10:30頃、岩に雪が付いて滑りやすい岩(標高 890m)で亀山さんにロープを出してもらい、簡易ハーネスを初実践で使用。ブルージック結びで手間取る。また続く難所の岩くぐりの場面(標高 1020m)ではそこをくぐらず左岸側に先行してもらい亀山さんにロープで確保いただいた。岩の斜面が新雪でなかなかグリップが効かない。比較的傾斜のゆるい場所をたどって難を避けた。最後は新一の谷ルートに合流して、そり遊びに興じる子供がたくさんいる山上公園に到着。中道登山口から3時間は長かったが途中の岩登り部分は勉強になった。

下りは中道、上部は霧氷がきれいで、下界の眺めも楽しめた。1時間ちょっとで中道登山口に到着した。

**【感想】**  
カッパを羽織ったが本谷の後半は急登続きで、身体を持ち上げるのに苦勞し、大汗をかいてしまった。ウェアコントロールで濡れ防止は冬山では重要だが、まだまだ難しい。一方、小田さんは、岩登りなどが好きなようで「楽しかった」という感想を繰り返していて、大変頼もしかった。

確認  
(リーダー)  
亀  
12/01/16  
山  
作成  
(報告者)  
神  
12/01/15\*  
戸

リーダー所見 新人隊からの「アイゼン歩行山行を希望します！」に応え、御在所の本谷コースを計画した。本谷へ踏み入ると、そここの積雪があり、にんまりである。途中、早めにアイゼンを装着し、アイゼン歩行の開始である！雪の付いた岩場の2カ所でロープを使っての登攀を実践してもらった。諸所滞っていたが何事も実践が良いと思う！小田の嬉々とした笑顔が印象的であった。

